

関東支部の活動紹介

世話人代表 仁田 健次

H14年12月6日 総理工セミナーが東京で開催されましたが、それに先だって林先生より「是非関東支部の発足式を同時に行なって欲しい」との一言で発足したのが関東支部です。

世話人のメンバーは、

溝口 計（エネルギー変換工学専攻、昭和57年終了、ギガフォトン(株)）

納富 良一（エネルギー変換工学専攻、昭和58年終了、(株)小松製作所）

杉山 英一（エネルギー変換工学専攻、昭和59年終了、(株)東芝）

仁田 健次（材料開発工学専攻、昭和52年終了、出光興産(株)）

の4名です。発足式では4名がそれぞれ熱く所信表明し、「支部の発展に頑張ります！」などとその場の勢いで言い切ってしまった事を、今若干後悔しております。

発足からの1年は、私自身会社の仕事に忙殺され支部活動が殆ど頭の中から消え去り、活動らしきものは殆ど行なえておりません（この場を借りて関係者の皆様にお詫び申し上げます）。約1年後のH16年1月、岡田先生より「15年度の支部活動補助金の請求をお願いしたい」との連絡が入り、慌てて支部発足第1回の連絡会を開催すべくメンバーを召集致した次第です。

H16年2月16日 関東支部のH15年度振り返りとH16年度計画について話しをしよう、と声を掛けたものの、15年度は全く活動らしきものは行なっておりませんので、まず世話人同志がお互いをもっとよく知り合って結束を図ることとし、出身や生い立ち、学生時代の思い出、会社生活、家族の事、等々、たっぷり時間を掛けて自己PRを行ないました。意外なところで仕事の繋がりがあったりで、この話しはかなり盛り上がりました。

自己紹介終了後、関東支部の16年度活動の進めかたに付いて意見交換を行ないましたが、なかなかいいアイデアが出てきません。学年幹事を選別して協力をお願いしようという案もでしたが、そもそも総理工は多様な専攻の集まりで出身の学部や大学が多岐に亘っており、また在学期間が2年と短いので学生同志や先生方を良く知らない。その為、同じ大学の同窓生としての意識が薄く、そのような中で掛け声だけで支部活動を活発化していくのは困難なのは、という意見が多数を占めました。

窮余の策として16年度に付きましては、まず自分の周りから輪を広げていこう、ということで、世話人が自分の専攻のOBネットワークを作るところから始めようということに致しました。秋頃には、先生をお呼びして「総会」のようなものに繋げていこう、ということまで意見がまとまったのですが、これもまた日頃の怠け癖から活動のフォローができておりません（再度、この場を借りてお詫び申し上げます）。

この「活動状況」をお読みになった関東在住の同窓生の皆様、まずはお互いの親交を深め合い、仕事、人生をより楽しく深みのあるものにしていきませんか？近いうちに必ずや（！？）関東支部の集いをご案内致しますので、振るってご参加いただきますよう、この場を借りてお願い申し上げます。

以上